

# 大地の恵み 歴史と文化の薫る いきいき岩崎

## 岩手県北上市 岩崎地区自治振興協議会

北上市総合計画に基づき、「地域の強い絆づくり」「地域資源を生かす取り組み」などをキーワードに地域づくりプランを策定し、以下の活動を行ってきた。①地域が一体となった取り組みとして自転車レース（夏油高原ヒルクライム大会）を支援、②若手の力をエンジンにした取り組みとして地区青年会を結成して地域の盛り上げをけん引、③賑わいを創る取り組みとして地域の唄と踊り創作なども行っている。

### 地域の概要

当地区は、岩手県内陸部の北上市にあり、市中心部から10キロほど南西側に位置して、西に奥羽山脈を眺め、ふもとの夏油高原には

温泉やスキー場がある。稲作が中心でアスパラガスなどの畑作と畜産が主な地場産業であり、勤労者の多くは県内有数の工業生産高を誇る製造業に従事している。七つの自治会がまとまり岩崎地区自治振興協議会（以下自治協と略す）を組織し、市内でも他地区に先駆けて指定管理制度の導入や、新たなイベントの創出、青年層の活躍など進取気性の風土がある。伝統的な文化として、古くから郷土芸能が盛んで市内全域で踊られる剣舞発祥の地である。また一方、高齢化率が高く、人口減少率は市内でも顕著な地域である。

### 地域づくり活動内容

以下の取り組みは、平成23年度から平成

32年度までの10年間で、北上市総合計画の一環として、市内16地区がそれぞれに策定する地域計画に基づいている。

#### (1)地域が一体となった取り組み

かつて、大きなマラソン大会や太鼓イベントを地元開催していたが、資金難など諸事情で中止した経緯がある。東日本大震災の前年、夏油高原の高低差を利用した自転車レースとして、ヒルクライム大会の誘致を愛好者から提案されていた。全国から選手を募る規模の大きなイベントであることから、当初は躊躇したが熱意に負けて開催を了承した。平成23年3月に大震災が発生。同年7月開催の予定で準備を進めていたものの、このまま計画を進めてよいものか悩んだ末に、大会を



通じて被災地に元気を届けようとの考えのもと予定通り実施を決めた。地元民にとって全くなじみのない自転車レースをどのようにサポートすべきか戸惑いが多かった。しかし、



夏油高原ヒルクライム 800余名スタート前



選手昼食おもてなし用のキュウリ漬け作業



岩崎地区青年団の活動 虹色フェスタ(8月)



岩崎地区青年団の活動 福豆鬼節分会(2月)

かつて行っていた夏油高原マラソン大会の経験を活かし、コース上の安全警備や選手のおもてなしなど、地域ボランティアとして老若男女100人以上の支援と、沿道の温かい応援とで大会を支え、地域の一大イベントとしてこれまで通算9回を数えるまでになった。

### (2)若手の力を推進エンジンにした取り組み

昭和の高度成長期までは、20代・30代が中心の青年会は、地域の盆踊りやスポーツ大会などの賑わいをリードしてきた。しかし、若者の減少と働き方や娯楽の多様性から繋がりが希薄になり、青年会活動は衰退していった。そこで、新たな地域計画策定にあたり青年会の設立を目標に掲げ、再び活性化の

推進エンジンになることを期待して「岩崎地区青年会 虹色の会」を結成した。地域の盛り上げ役であるとともに、将来にわたる地域リーダー育成の人づくりの場ともなっている。発足時からメンバーは年々増え、今では250人を超えるまでになり、メンバー同士の結婚は3組もある。

主な活動は、盆踊りをメインにゲームや余興などを行う夏の虹色フェスタ(参加者約1000人)と、鬼が主役の土地柄らしくユニークな豆まきと郷土芸能・各種出店など冬に開催する節分会(参加者約4000人)はどちらも9回を数える。

平成30年11月には、定住化促進事業の一環としてU・I・JターンPRのため、虹色フェスタを東京浅草で開催し約8千人が来場した。

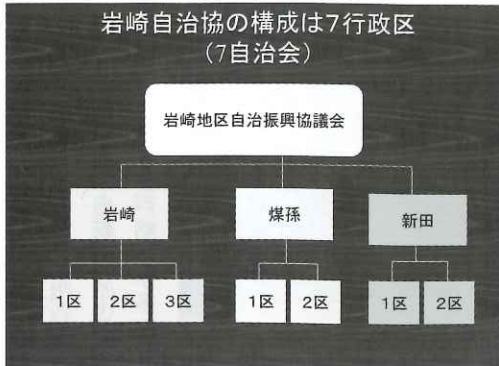
### (3)賑わいを創る取り組み

地域オリジナルの唄と踊りを創作した。自慢の名勝や文化を織り交ぜた輪踊り調の「岩崎ソウサ節」は、作曲を岩崎出身で首都圏在住の方に、演奏は地元民謡団体へ、踊りは市内の舞踊家からの指導を受けた。踊りを広めるため、地元婦人グループや青年会の協力を得て、各地区の敬老会・演芸会・盆踊りなどで踊られて3年で岩崎の踊りに定着した。

また、地域の新たな名物をつくるなどの発案でオリジナル料理「岩崎だんご汁」を開発した。郷土食の米粉だんごと子どもから大人ま



郷土芸能 岩崎鬼剣舞(国指定)



岩崎自治協議会の構成は7行政区(7自治会)

で好まれるスープカレーとの斬新な組み合わせにした。なかなか納得のいく味が出せず試行錯誤を繰り返して、完成まで約1年を要した。現在はイベントでのみ提供だがリピーターも増え、通年で食せる飲食店を開拓中である。

(4)地域資源を生かす取り組み  
当地区は、夏油高原の自然に恵まれ、さらに伝統文化も多くある。高台に放置されていた雑木林を、長年にわたり地区民が協力して切り開き展望公園に作り変えた。自治協はこのような活動に対し、人的・資金的に支援し、北上市が認定する「きたかみ景観資産」のひとつになった。

中世に当地を治めた和賀氏の歴史に関連し、毎年6月初旬に開催される「岩崎城絵幟(えのぼり)まつり」は37回を数え、まつりで舞われる鬼剣舞は当地発祥として市内各地で踊られている。こうした自然と歴史・文化は当地の強みである。

また、農業者・カフェ経営者・キャンプ場経営者・手打ちそば販売者・炭生産者など、いずれも県内外から岩崎に定住した若手経営者が、業種の垣根を越えて連携している。北上市の助成も得て「夏油高原いで湯ライン活性化事業」として活動しており、それらに必要な情報や資材などの支援を行っている。

## 活動の成果

- ①自転車イベント夏油高原ヒルクライムは、参加選手が全国から8000余人にもなり、北上市の代表的なスポーツイベントに成長した。毎年、参加選手の100組以上が温泉宿泊を利用するなど経済効果に寄与している。
  - ②青年会の活動が認められ、2014年全国地域青年「実践大賞」特別賞を受賞しており、市内各地で活動事例を紹介している。
  - ③「岩崎ソウサ節」は、踊りの解説も入れてCD販売して好評を得ている。「岩崎だんご汁」は、知名度も増し市内の交流センターから調理指導の依頼もある。
  - ④展望公園づくり活動において、活動の中心となった自治会が平成27年度あしたのまち・くらしづくり活動賞振興奨励賞の受賞を誇りに、活動を継続している。
- 私たちの自治協は、岩手県の「元気なコミュニティ特選団体」に認定されていることや、先駆的な指定管理事業体として評価を得て、経営方法や地域づくりを視察に訪れる団体が年に4〜5件ある。こうした活動を地域PRパンフで内外に紹介している。
- (元地域づくり推進員 亀田善男)